

令和2年度

『若年者の消費者教育の推進に関する集中強化プラン』  
における若年者の消費者教育推進のための実証的調査研究

# ICT活用による消費を通じた社会課題 の解決を促す連携・協働プログラム

札幌学院大学 橋長真紀子



## 消費者教育推進法（2012）

- 消費者教育の目的—消費者の日々の意思決定や行動が、総体として経済社会の発展や持続可能な社会を形成する上で大きな役割を果たすことを認識し、社会の一員として行動する消費者を育成すること
- 環境教育、食育、国際理解教育その他の消費生活に関連する教育に関する施策との有機的な連携を図ること

## SDGs

- ゴール12「持続可能な生産と消費」消費者が自身の社会的役割を自覚し、責任ある消費行動を取ることで、責任ある生産を促し、持続可能な社会を構築しようとするもの



将来の社会や教育の担い手である大学生は、2022年より成人として見なされ社会の担い手として、主体的に社会参画し自らの将来への責任を果たしていくことが期待されている。

# 札幌におけるフェアトレードの歴史

1980年代	日本ネグロスキャンペーンに賛同したJCNC北海道がバランゴンバナナを輸入し「民衆交易」を開始
1991年	FT専門店「これからや」
2003年～	市民へのFTの意義を周知する「フェアトレードフェスタinさっぽろ」が毎年開催
2019年6月1日	札幌市 日本で5番目の「フェアトレードタウン」
2019年10月12日	札幌学院大学と北星学園大学・北星学園大学短期大学部 全国2番目（道内初）のフェアトレード大学

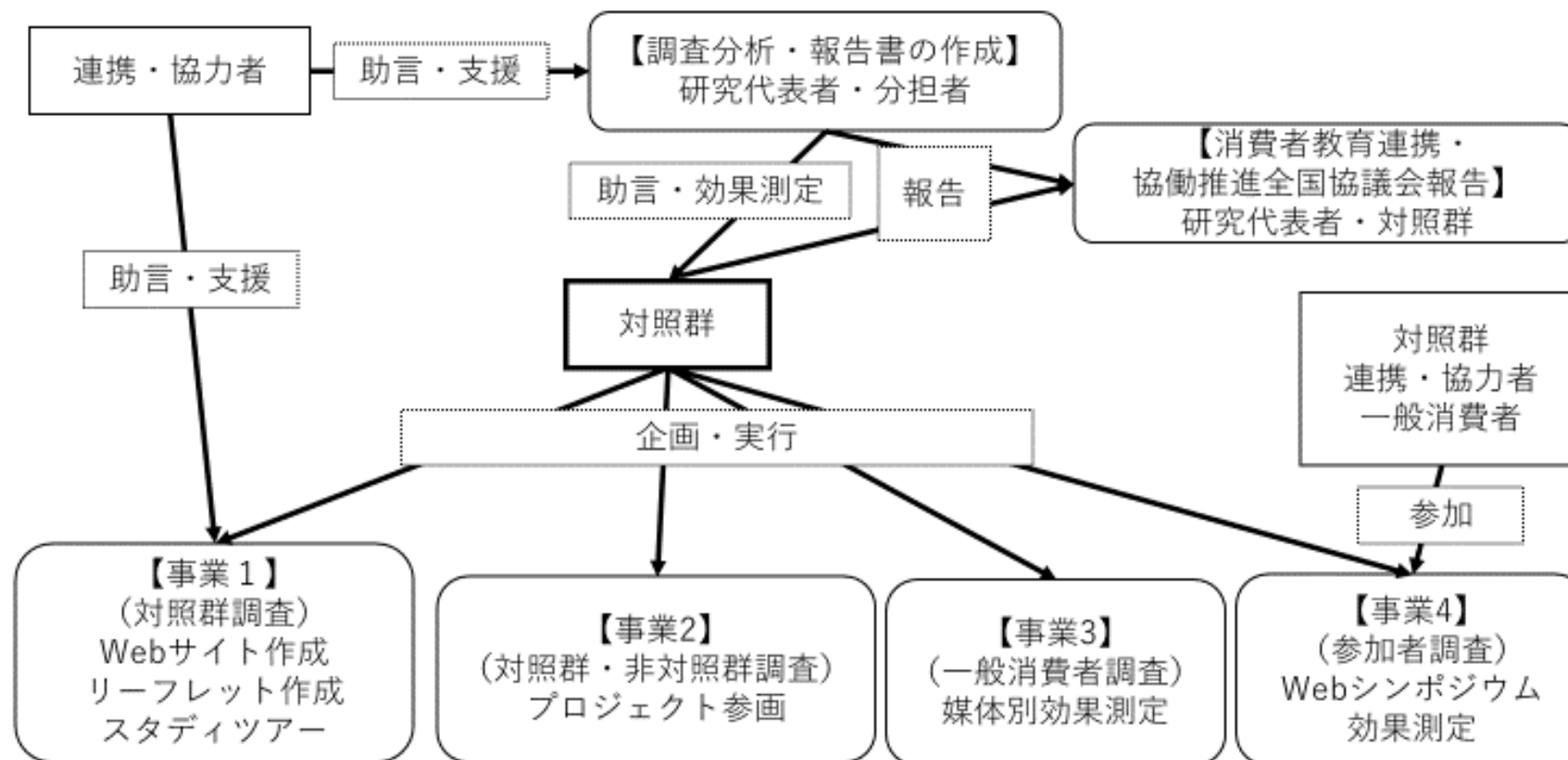
- 消費者教育においては、無関心層への啓発が課題



- 様々な媒体による広告や市場における商品の陳列が有効
- 日常の消費の現場（店頭）に、FTの商品や意義を伝える象徴となるものが、気軽に目にとまる環境を作ることが肝要

- ① FTタウン、2つのFT大学、各ステイクホルダーの連携・協働により開発したFT商品を教材として活用し、本プロジェクトに参画した学生の社会的価値行動の醸成に関する教育効果
- ② 消費者に対する周知媒体の有効性に関する実証研究

## 事業の実施体制



# 事業計画

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生産地視察	→										
Web サイト開設	事前調査	→					事後調査				
リーフレット作成	事前調査	→					事後調査				
Web シンポジウム				企画・調整・準備	→	●	参加者調査				
調査分析								→			
第2回消費者教育推進委員会報告									●		
報告書作成									→		



# 事業1：旭川生産者視察

- 北海道とフェアトレード製品の生産者訪問し、消費の裏側に隠された生産者の実態をレポートし、上記のホームページやリーフレットにて紹介する。





# 事業2：Webサイト開設・リーフレットの開発

- 開発したフェアトレードのオリジナル商品を紹介するホームページの制作やリーフレットを学生が主体となって開発する。



出典：北海道×フェアトレードプロジェクトページ  
<https://sguftcircle.wixsite.com/fairtrade2018/project>



# 事業3：国際Webシンポジウム企画・運営・参加

フェアトレード大学の地域における役割

第1回

世界フェアトレード大学  
Webシンポジウム

—フェアトレード大学の地域における役割—

日時 2020年10月24日(土)  
17:00~19:30

会場 Youtube Live

定義 参加自由

参加費無料

第1部 17:00~17:50	
講演	大学がフェアトレードを推進する意義と地域貢献のあり方
基調講演	ジョー・ウィリアムソン氏 (ミドルセックス大学 フェアトレード大学プロジェクト 契約責任者・リーダー)
実践紹介	萱野 智篤氏 (北星学園大学 経済学部教授)
	下澤 嶽氏 (静岡文化芸術大学 文化政策学部教授)
第2部 18:00~19:30	
パネルセッション	学生が大学・社会を変える秘訣 フェアトレード活動を通じて
パネラー	ヌガ・ヌグエン・アリス氏 (ミドルセックス大学 経営大学院博士課程)
	猪部 なつみ氏 (北星学園大学 経済学部4年/ 北星フェアトレード前代表)
	飯島 愛奈氏・菅原 彩氏 (静岡文化芸術大学文化政策学部2年)
	三浦 佑斗氏 (札幌学院大学 経営学部2年/ フェアトレードサークル代表)
モデレーター	橋長 真紀子氏 (札幌学院大学 経営学部教授)

<お問い合わせ>  
札幌学院大学 図書館研究支援係  
経営学部 橋長

TEL: 011-386-8111  
EMAIL: sgu.ftcircle@gmail.com  
URL: https://www.sgu.ac.jp/

ホーム 第一部 第二部 参加大学 活動紹介 English

札幌学院大学 北星学園大学 静岡文化芸術大学 Middlesex University London

## 世界フェアトレード大学 Webシンポジウム

—フェアトレード大学の地域における役割—

主催：札幌学院大学  
共催：北星学園大学・北星学園大学短期大学部  
協力：静岡文化芸術大学  
後援：札幌市・江別市・北海道新聞社・  
日本フェアトレードフォーラム・  
フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議

日時：2020年10月24日(土)17:00~19:30  
Youtube Live 配信  
定員：参加自由  
参加費：無料

印刷用チラシ Youtube Link

出典：世界フェアトレード大学Webシンポジウムページ  
<https://fgr4010179861.wixsite.com/symposium>

# 事業3：Youtube画面



The screenshot shows a YouTube video player with a live stream announcement. The video title is "World Fairtrade University Web Symposium: The Role of Fairtrade University in Local Community". The video content features a blue background with green foliage and text in Japanese and English. The text includes the event name, date (2020. 10. 24. Sat), time (17:00~19:30 JST), and participating universities (Sapporo Gakuin University, Hoshi Gakuin University, Shizuoka University of Arts and Culture). A chat window on the right shows messages from "World Fairtrade University Web Symposium" in both Japanese and English, along with a privacy notice. The video player interface includes a search bar, navigation icons, and a "Live" indicator.

第1回  
世界フェアトレード大学  
Webシンポジウム  
—フェアトレード大学の  
地域における役割—

2020. 10. 24.  
Sat  
日本時間 17:00~19:30

@YouTube Live

World Fairtrade University Web Symposium: The Role of Fairtrade University in Local Community

ライブストリームは現在オフラインです

World Fairtrade University Web Symposium 視聴者の皆様へのお願い：是非このチャットを通じて、質問やコメントをお寄せください。なお、登壇者への質問の場合には、質問の宛先とご自身のお名前をご記入願います。

World Fairtrade University Web Symposium Dear YouTube viewers, We highly appreciate your questions and comments. Please leave your comments or question with your name. .

World Fairtrade University Web Symposium 日本の視聴者の皆様、シンポジウムの後に、是非『フェアトレードに関する消費行動調査』へのご協力をお願いいたします。 <https://www.surveymonkey.com/r/GQ33N5...>[s\_value]&u=[u\_value]&l=[l\_value] 5分ほどで記入できる簡単な調査です。

チャットへようこそ！ご自身のプライバシーを守るとともに、YouTubeのコミュニティガイドラインを遵守することを忘れないでください。  
詳細

メッセージを入力... 0/200

チャットを非表示

次の動画 自動再生

出典：世界フェアトレード大学Webシンポジウム Youtubeページ  
<https://www.youtube.com/watch?v=B7Lif5fqBio>



# 事業3：基調講演（ミドルセックス大学）



World Fairtrade University Web Symposium: The Role of Fairtrade University in Local Community

## Significance of University's promoting Fairtrade and ways of contributing to the community

Jo Williamson

**The Significance...**

Our students will be the leaders of tomorrow and it is our duty to enable them to be more aware of the issues that are faced by others and treat everyone in an equitable manner - **university of Derby**

by the time they get to us, the the the - C

Middlesex University 13:53 / 2:11:51

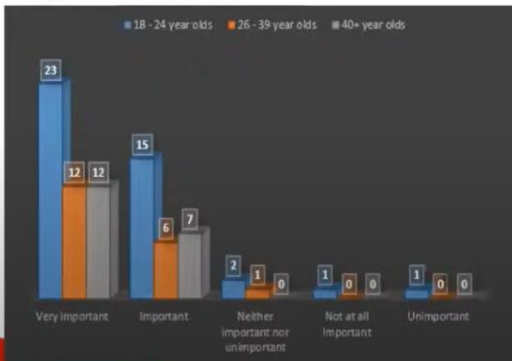
World Fairtrade University Web Symposium: The Role of Fairtrade University in Local Community

## Significance of University's promoting Fairtrade and ways of contributing to the community

Jo Williamson

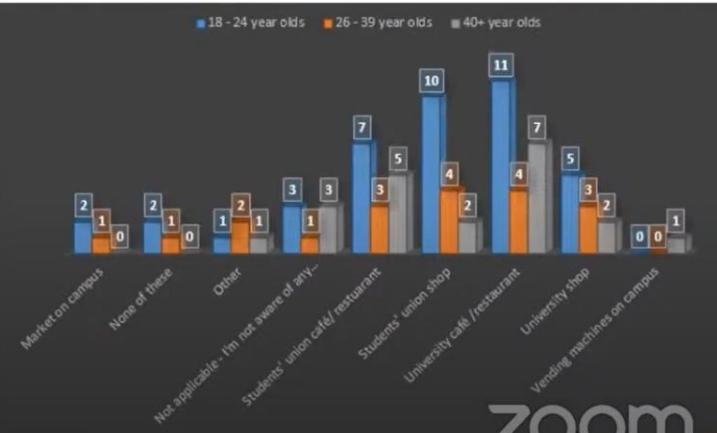
**The Significance...**

How important, if at all, do you think it is that your university or college takes action to use and promote Fairtrade?



Importance	18-24 year olds	26-39 year olds	40+ year olds
Very important	23	12	12
Important	15	6	7
Neither important nor unimportant	2	1	0
Not at all important	1	0	0
Unimportant	1	0	0

Thinking about your university or college, which of the following places do you recall seeing Fairtrade products available?




Location	18-24 year olds	26-39 year olds	40+ year olds
Market on campus	2	1	0
None of these	2	1	0
Other	1	2	1
Not applicable - I'm not aware of any...	3	1	3
Students' union cafe/ restaurant	7	3	5
Students' union shop	10	4	2
University cafe/ restaurant	11	4	7
University shop	5	3	2
Vending machines on campus	0	0	1

Middlesex University 18:18 / 2:11:51

# 事業3：実践紹介（北星学園大学・静岡文化芸術大学）

World Fairtrade University Web Symposium: The Role of Fairtrade University in Local Community  
フェアトレード/フェアトレード実習

2008年、経済学部プロジェクト実習科目の一つとして開講。当初は、実験店舗の開店、運営にも取り組み、2011年からは、2年おきに札幌市内、および北海道内のフェアトレード産品常置店の訪問調査に取り組む。2017年に札幌市がフェアトレードタウンとなるための店舗数をクリア、2018年にも確認調査。社会人基礎力を形成、学生たちにフェアトレードタウン実現への貢献意識が生まれた。



年	札幌市内(実店舗数)	札幌市外道内(実店舗数)
2008年	約10	約5
2013年	約15	約10
2017年	約25	約15

World Fairtrade University Web Symposium: The Role of Fairtrade University in Local Community

0:09:29 17:45 次のスライド

去年からフェアトレードの実践的プロジェクト「はままつチョコプロジェクト」を始めました！

SUACがフェアトレードのチョコをつくるって本当ですか？

静岡文化芸術大学



World Fairtrade University Web Symposium: The Role of Fairtrade University in Local Community  
学生の意識の変化

- ▶ 2005年からの北星フェアトレードの活動、そして経済学部のカリキュラムの中での「フェアトレード実習/フェアトレード」の授業（年平均50名が履修）を通じて、学生のフェアトレードへの参加意識、自分たちの活動の意義の再確認、利他的な姿勢、社会変革に関わる積極性が育った。
- ▶ 研究論文、卒論も多数生まれている。

→ 大学でのフェアトレードの学びを通して、市民意識 (Sense of Citizenship) が生まれた。

北星学園大学





# 事業3：パネリスト報告（4大学学生団体）

World Fairtrade University Web Symposium: The Role of Fairtrade University in Local Community

**Tips: wider society context**

- Buy FT products: think tea, coffee, chocolate, biscuits, bananas, ice cream, sugar, peanuts, clothes, postcards, etc.
- Educate yourself and spread knowledge and positivity.
- Inspire and encourage friends, family and your social networks to do the same.
- Share your stories and thoughts about FT with others.
- Start a petition, campaign or movement.
- Volunteer.
- Donate.
- Share your stories across all online platforms.
- Follow FT on social media and re-share their posts and stories.
- Be consistent!



Mid Essex University London

Zoom

ミドルセックス大学

1:13:01 / 2:11:51

World Fairtrade University Web Symposium: The Role of Fairtrade University in Local Community

試作



静岡文化芸術大学



Zoom

1:35:10 / 2:11:51

World Fairtrade University Web Symposium: The Role of Fairtrade University in Local Community

**Details of the products**

- From Thailand**
  - The Thai Tribal Crafts Fair Trade (WFTO)
  - Established in 1973
  - Thailand
- Products
  - Makeup bags, pen cases and laptop bags
- How to import them
  - The producer(Thailand)
  - Canvas(Thailand and Japan) : A group helps to import the products for the students
  - Hokusei Fair Trade(Japan)
  - Customers(Japan)

北星学園大学

Zoom

1:19:23 / 2:11:51

World Fairtrade University Web Symposium: The Role of Fairtrade University in Local Community

**Sapporo Yume-Kessho (Dream Crystal) Ingredients**

- organic cinnamon powder from Sri Lanka
- cocoa powder from Ghana
- honey from Argentina
- black rice from Hokkaido



札幌学院大学

Zoom

1:39:36 / 2:11:51



# パネルディスカッション全体会



【調査概要】 インターネット調査 札幌学院大学学生 82名

【調査期間】 2020年11月9日－16日

【回答者の属性】 経営学部 22名（有効回答率 26.82%）

男性 17名（77.27%）/女性 5名（22.73%）

日本人 20名/中国人 1名/台湾人 1名

1年生 4名/2年生 11名/3年生 3名/4年生 4名

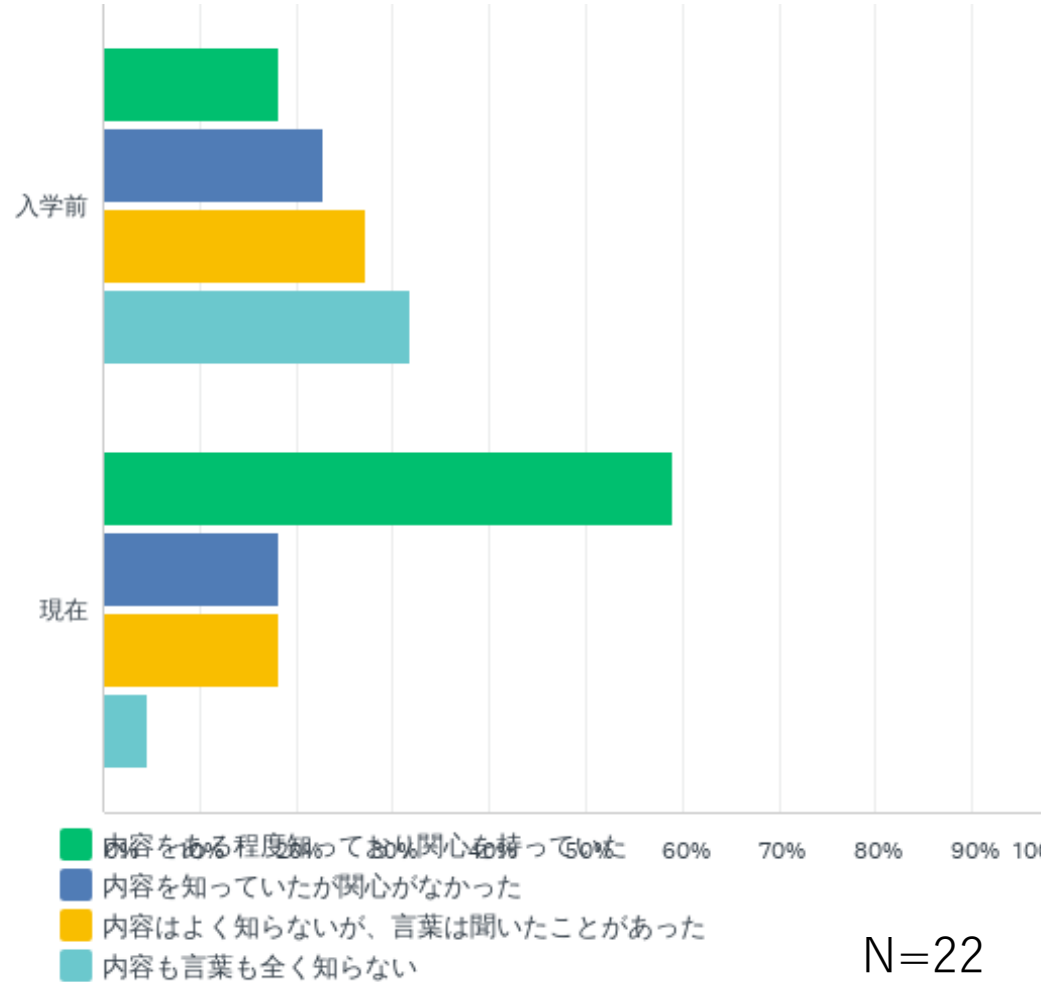
3.5以上 5名/2.0-3.5未満 11名/2.0未満 3名/新入生 3名

「さっぽろゆめ結晶」 参画した 7名/参画していない 15名

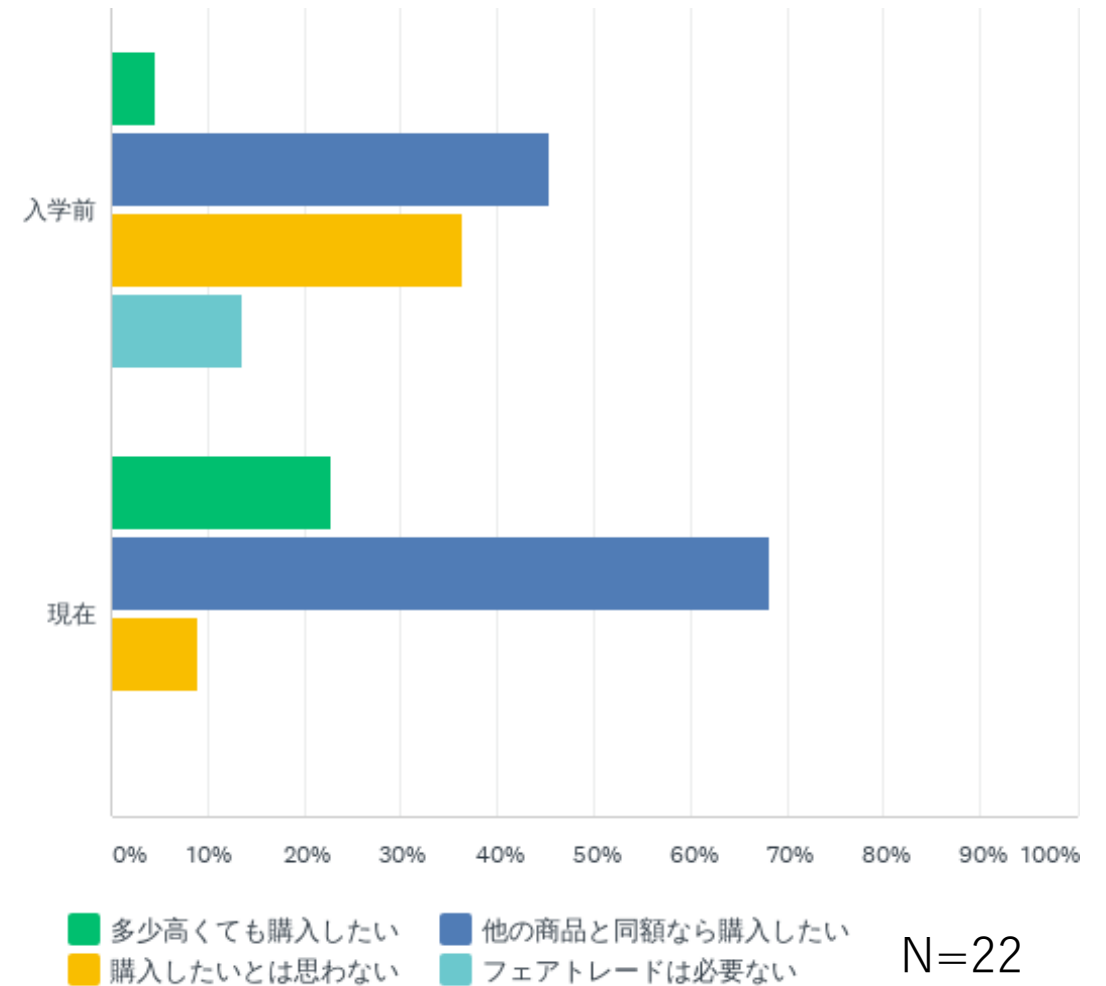
「国際シンポ」 参加した 8名/参加していない 14名

# フェアトレード認知度/購入意向（入学前 vs. 現在）

## 認知度



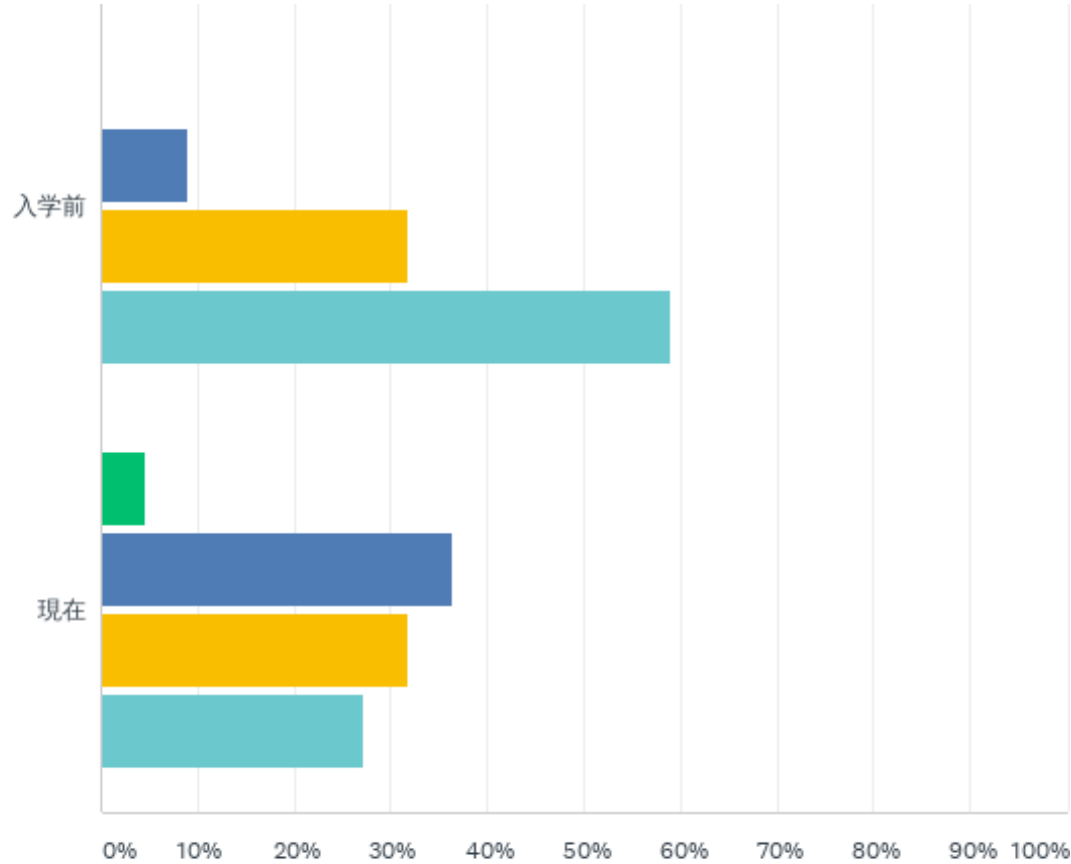
## 購入意向





# フェアトレード製品の購入歴/年間購入額（入学前 vs. 現在）

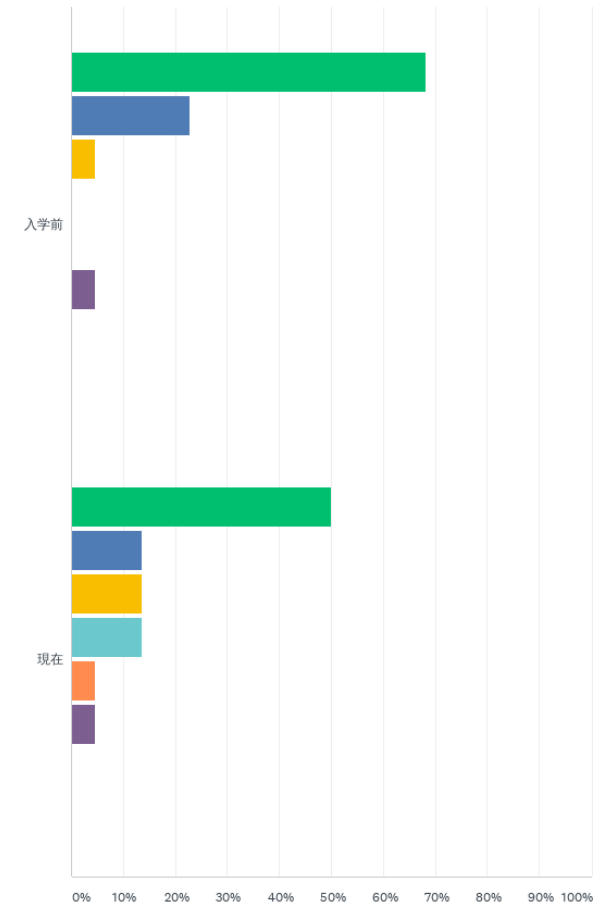
## 購入歴



■ 関心があり好んで購入していた    ■ 関心があり時々購入していた  
■ 関心があったが購入したことがなかった    ■ 購入したことがなかった

N=22

## 年間購入額

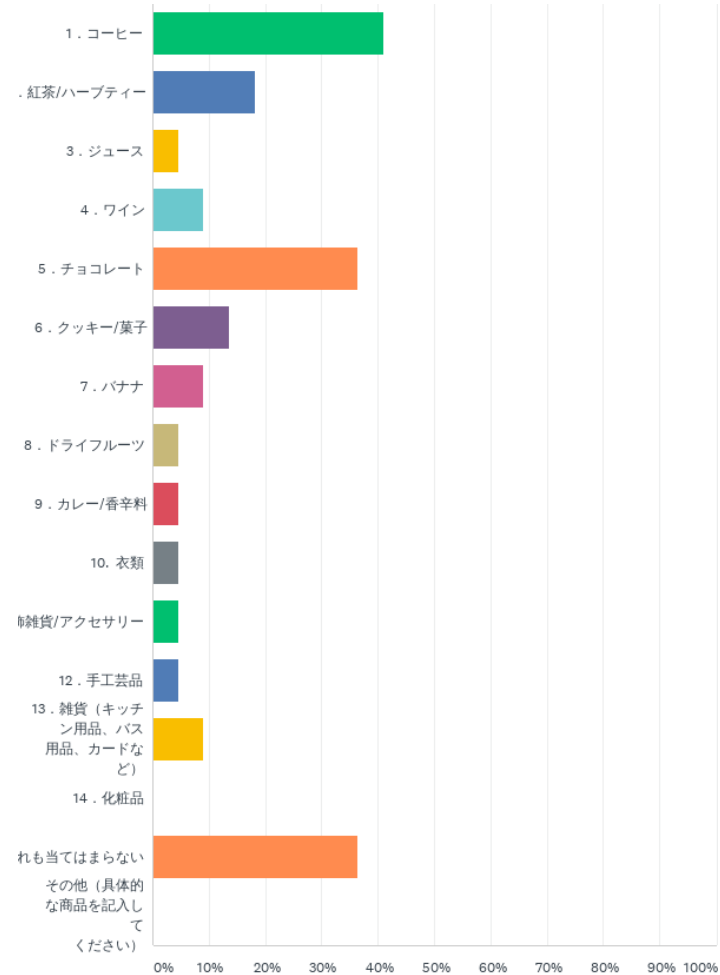


■ 500円未満    ■ 500-1,000円未満    ■ 1,000-2,000円未満  
■ 2,000-3,000円未満    ■ 3,000-5,000円未満    ■ 5,000-10,000円未満  
■ 10,000-20,000円未満    ■ 20,000円以上

N=22

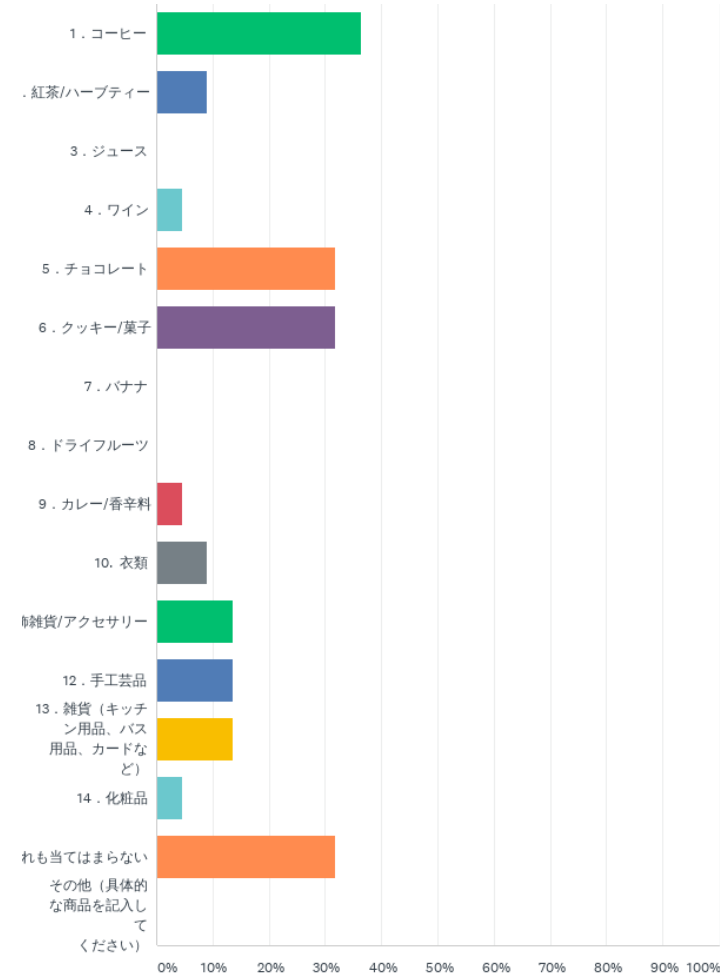
# フェアトレード商品の購入検討品目：過去/1ヶ月以内（複数回答）

## 過去



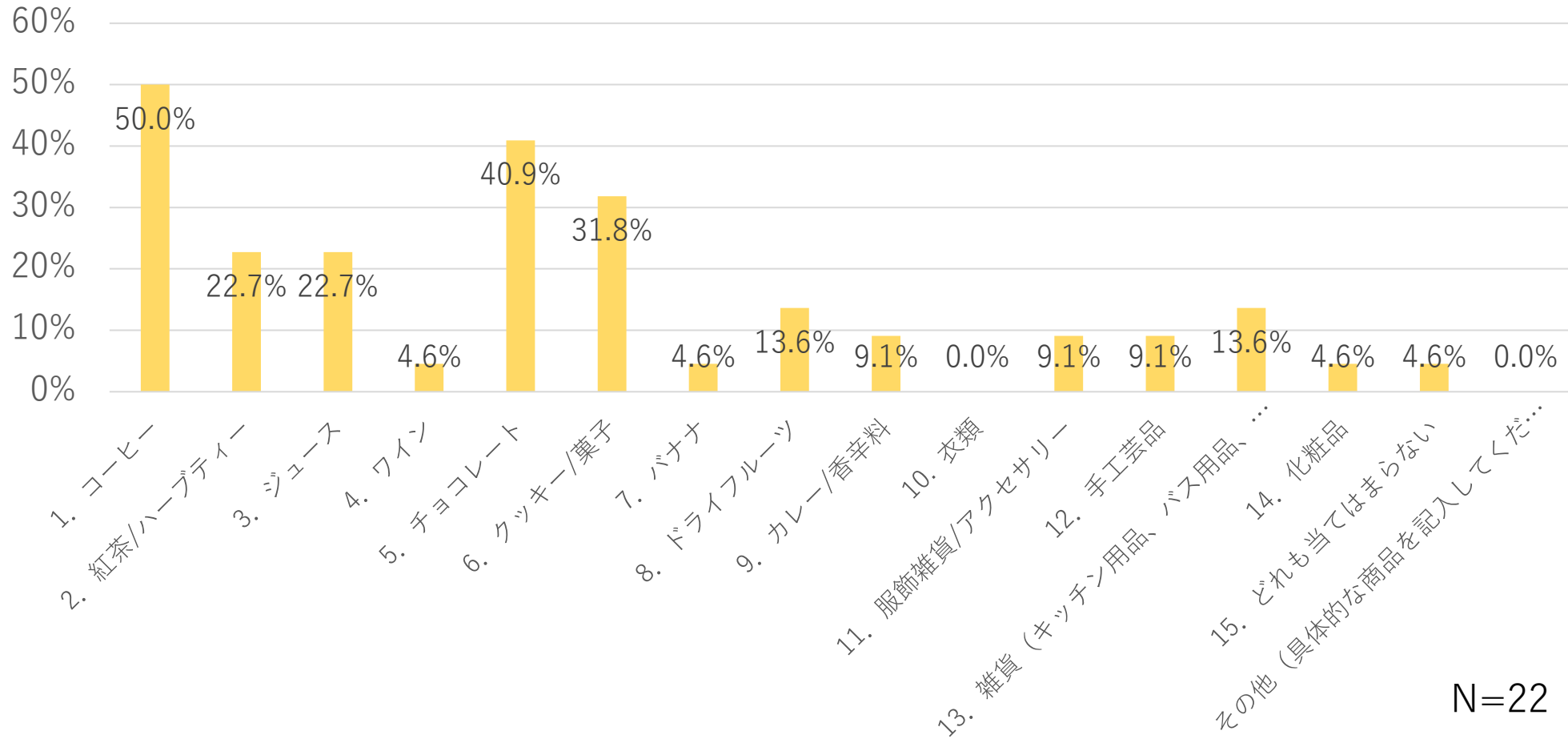
N=22

## 1ヶ月以内



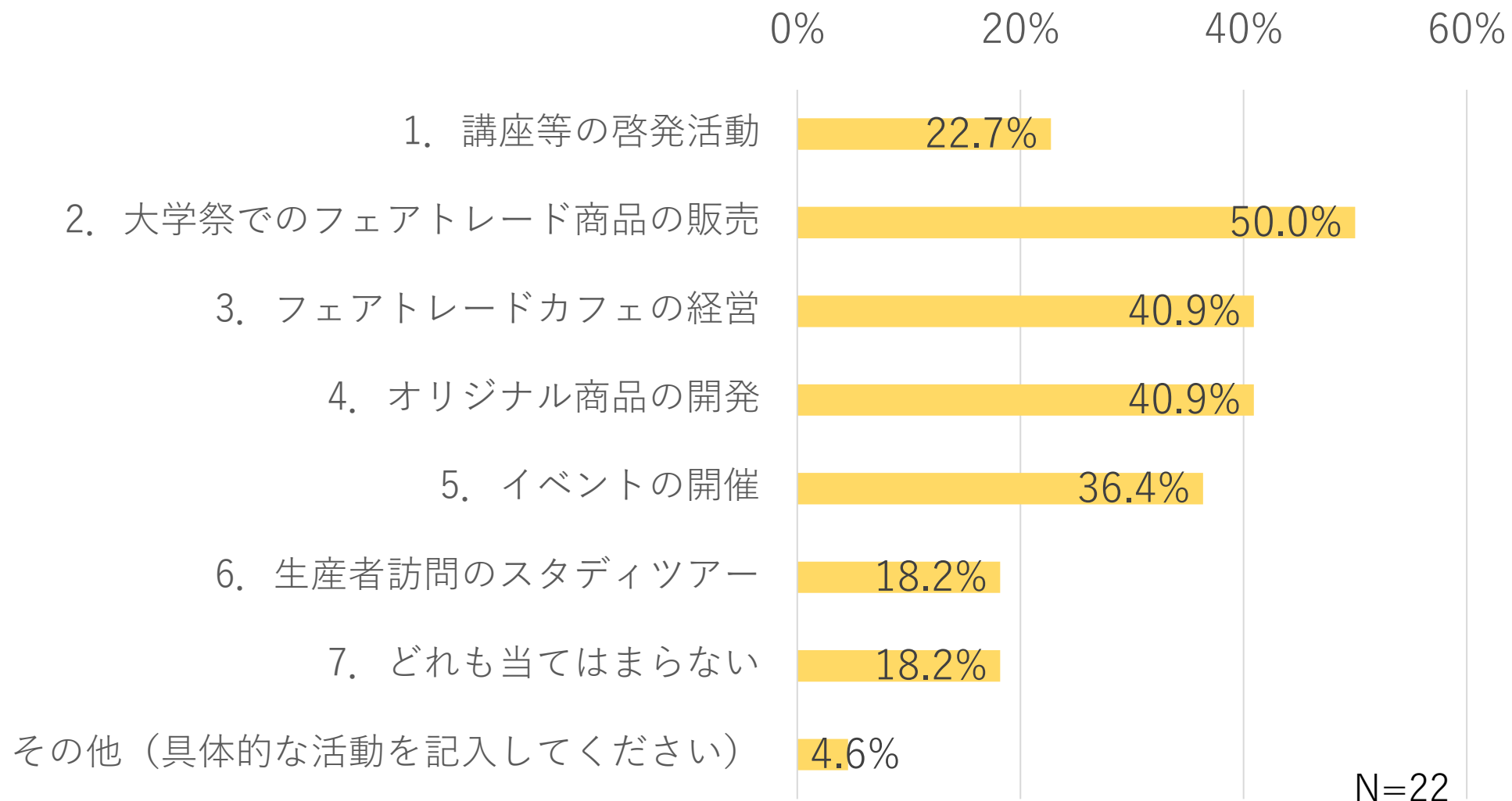
N=22

# 大学内で販売してほしいフェアトレード製品/産品（複数回答）



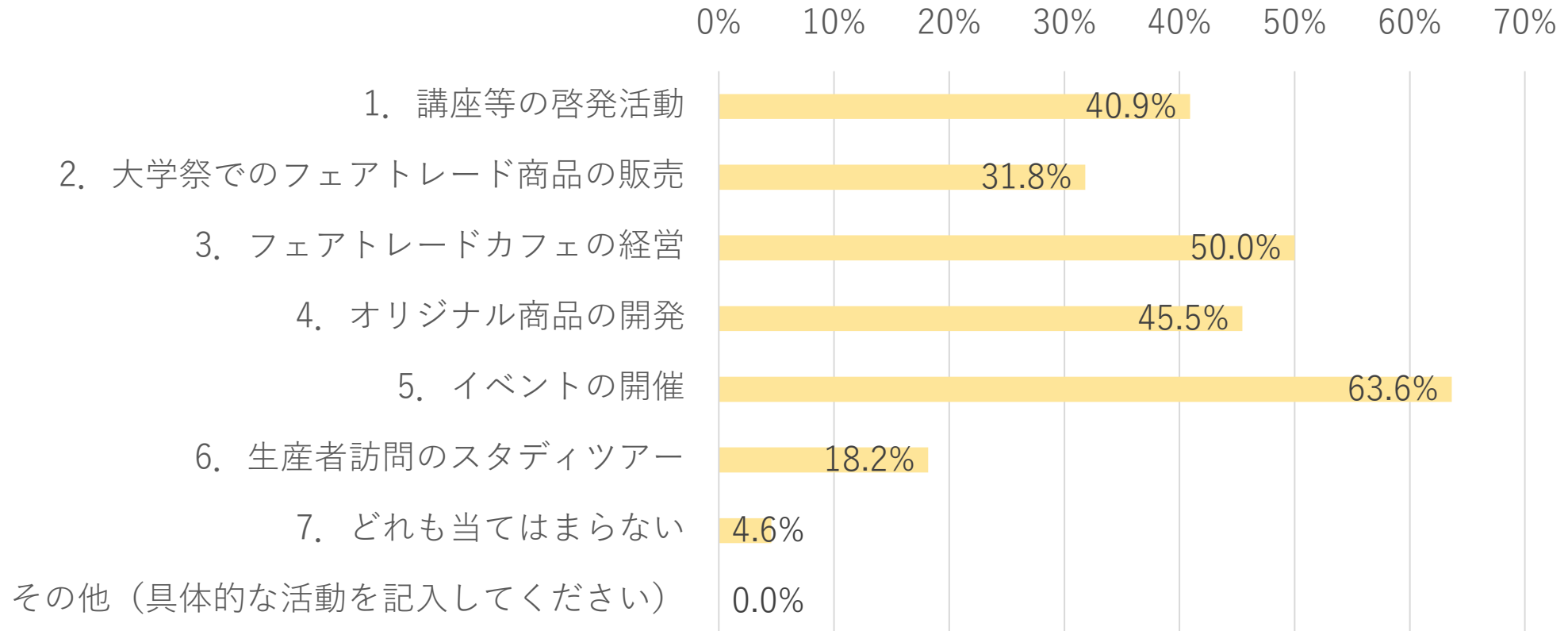
N=22

# 大学内で関わりたいフェアトレード普及活動（複数回答）





# フェアトレード大学が社会に対し行うべき活動（複数回答）



N=22



- 今回のシンポジウムは、**かなり規模が大きく、全員が流れを完璧に理解することがすぐにできなかつたので、話し合いや確認を何度も重ねることが改めて大事である**と感じました。
- イベントを運営していくにあたって、**人の輪の有難さや重要さを改めて気づくきっかけ**となりました。
- 最も考える時間となったのは、やはり英国Middlesex Universityさんの基調講演と活動報告でした。フェアトレードの活動が盛んであるヨーロッパ・**イギリスでは、活動内容の規模が違う**と感じました。
- 英国の皆さんも様々な苦勞をされたということだったので、**焦らずに私たちの活動を継続させていくことが近道である**と感じました。他大学の活動報告も、直接ではないと聞くことができない話を聞くことができたので、とても有意義な時間となりました。

- 来機ちこのう  
出やむたなど合  
ム込私益なし  
で、ウめも有ム話  
のジ溜ともウで  
るポとこ最シ体  
インつぶるポ団  
てシも学びン自  
じなをででシ各  
感う動身がなて  
によ活自生うっ  
うのや。学よ帰  
よこ方た大のち  
い、えしにこ持  
多も考ま上がを  
もりのじ以士れた。  
てよ外感れ同そし  
とい以とそ生いま  
が合ちか、学合じ  
としたいが大し感  
こ話分なすじ出と  
うの自はま同をだ  
合けどでり際見的  
しだなのあた意想  
話ち会い山え、理  
でた流い沢考てが  
け身交がはをじム  
だ自、うてと通テ  
間らムほしこをス  
人なラい関ういシ  
のと一多にい合う  
内こオが生としい  
学るフ会学と話と
- うな。ホ話そ  
たいいいン、一  
しとたシて、鮮  
でいりのけあ、月  
んた作回設し、1か  
せしで今を表。考  
ま話生。間発か、  
きと学…時しうし、  
尽っをがるンよす  
がもけすすヨしま  
話、だで表シでり  
はで会度発ツいが  
プの機程を力な上  
一たのう動スはも  
ルしい活イで欲  
グま合とるデの意  
のいしいいでいの  
ちま話いて。プいち  
たし、ばっ一もた  
私ででれ行ルて私  
でれこ来がグっ、  
ンらそ出学各あば、  
ヨ切。で大、にれす。  
シがんま各め的あま  
ッ話せくず決期がい  
力でまあまを定会思  
ス限え。にマが機と  
イ制ぐたう一會なる  
デ間ぬしよテ機うれ  
プ時がまののなよた  
一、ちいムいうの保  
ル果持思ウ合よそが  
グ結気とジしの回さ



- えを増げ  
考見をだ  
え意容習  
増の内練  
も人すの  
数。話ル  
人すにサ  
りでら一  
なたさハ  
異つらリ  
とかたも  
時しつて  
の難余と  
ルもがてた。  
サて間ぎつ  
一と時すだ  
ハも、多き  
リのつがべ  
とるつろく  
るめみこお  
みとことて  
てましるし  
っをと配習  
や見落を練  
を意に気と  
一のめ、っ  
夕員とども  
一全まな  
テ、のくず、  
リで分聴か  
シの自をい  
アる、見く  
フわつ意ま  
に変わつてう  
實際もきしは  
実方聞やで
- 向教  
にはもがら  
標分方てな  
目自生っい  
じ。先入あ  
同た。先輩か  
がし輩か教  
なま先こを  
んいてどと  
みていば、こ  
て、つづばあ  
くし世界あ  
は。おなじえ  
で。能同考  
側と可がや  
る。こ続標点  
れう。持目視  
ら。いら、な  
えとかがろ  
教だ。てた。い  
との。っし。ろ  
側も。入。で。い  
る。く。に。ち。づ  
え。い。ル。持。で。と。気  
教。で。ク。ル。持。で。と。気  
は。ん。一。る。平。の  
と。進。サ。い。は。な  
ド。て。ド。て。ド。の  
一。し。一。い。一。も  
レ。力。レ。だ。レ。る  
ト。努。ア。た。ア。で  
ア。て。ア。い。ア。で  
フェ。っ。エ。て。エ。成  
フ。か。フ。え。フ。成
- 人は  
成功し  
けていた  
長問によ  
に質の協  
扱者の協  
材者の協  
機聴者  
い、視す  
行、した  
を。論。論。さ  
討。論。さ  
や。に。く。し  
ス。も。て。し  
バ。は。わ。感  
ド。者。関。痛  
ア。加。者。と  
の。参。が。だ  
英語、ウ  
は。わ。ジ。な  
人。ま。ホ。な  
な。に。ン。に  
意。整。シ。ト  
得。調。シ。ト  
が。の。Web  
英語材の  
機。材。の  
英。機。こ  
た。イ。ベ。ン。ト

## 期待される成果・効果（大学生）

事業の期待	事業の成果・効果
1. 若者の力が社会を変えるという大学生の消費者市民資質の向上に寄与する。	パネルディスカッションのテーマからも学生が社会を変えるには、自分たちが主体的にまずは身近な人から仲間を増やして行くこと、活動を楽しんでいること、一貫して活動に取り組むことで、無意識のうちに人の行動を変えることができることを学んだ。
2. FT大学としての社会的使命を再認識させることができる。	日本のFT3大学が結集し、FTの地域における意義と役割を議論したことにより、自分たちの活動に満足することなく、他大学の取り組みから今後の活動の示唆を得た。
3. 英国と日本との意見交換により、世界共通の格差の是正、貧困問題の解消に向けた相互の活動内容、考え方を学べる。	英国の取り組みから、単にFTを推進するだけでなく生産者を支える取り組みということ伝えていく重要性を再認識した。
4. 英語による議論およびそれまでの企画準備を通じて、国際コミュニケーション力を養う。	留学経験のある日本人学生・日本にいる外国人留学生は積極的に英語で議論していた。より流暢な英語力を持つ日本人から刺激を受け、自分の英語力の足りなさを実感したり、語学を学ぶモチベーションの向上へと繋がっていた。

## 期待される成果・効果（大学関係者）

事業の期待	事業の成果・効果
1. 大学のFTを通じた社会貢献のあり方について意識形成を行うことができる。	システムの関係で視聴者アンケートが回収できなかったため、検証できなかった。
2. 大学の社会貢献の姿勢を社会へ周知することができる。	407視聴数（11月17日現在）、「いいね」10件、多くの視聴者にフェアトレードの意義を伝えることができた。
3. 多様な授業展開の在り方を実践することができる	オンラインだからこそ可能となる国際理解教育、遠隔教育の1つの形態として、教員からの講義の他にも多様な大学との共同授業の展開方法を確認し、協定大学との共同プログラムの開発への示唆を得た。

事業の期待	事業の成果・効果
1. 札幌・江別市民へのフェアトレードの認知向上へ寄与する。	システムの関係で視聴者アンケートが回収できなかったため、検証できなかった。
2. 消費を通じた社会貢献の意義を、一般消費者へ伝えることができる。	各団体の発表がフェアトレードの本来の意義を伝えるものであった。
3. 世界が同時に貧困問題や人権問題に取り組む現状を伝えることができる。	日英の大学による議論で、他国の学生の意識や活動内容を学ぶことができ、フェアトレードは世界的な取り組みであることを再認識できた。



事業の期待	事業の成果・効果
<p>1. SDGsのゴール17に寄与する産官学民連携の消費者市民社会の形成に向けた連携・協働のモデルを示すことができる</p>	<p>本シンポジウムは、教育機関の連携によるイベントであったが、各大学の取り組みは、いずれも産官学民連携によるフェアトレードの推進であった。連携・協働モデルは、報告書にて記載予定。</p>
<p>2. 今後、新たにFT大学を目指す大学へのモデルを示すことができる。</p>	<p>実際に、現在FT大学申請をしている1大学が、パネルディスカッションにも参加していただき、後続の大学への示唆が与えられた。</p>

One life,  
Many answers



札幌学院大学

SAPPORO GAKUIN UNIVERSITY